

仁心城

No 102962



松山城

秋より春

天を岡

子規

松山城は慶長七年（一六〇二年）、
戦国時代の勇将で、賤ヶ岳（しずが
たけ）の七本槍で有名な加藤嘉明に
より築城をはじめられたもので、勝
山山頂に本丸、中腹に二ノ丸、山麓
に三ノ丸を整備した広大な規模の城
郭である。江戸時代に建築再建され
た天守や城門、櫓など21棟は重要文
化財に指定されている。特に安政元
年（一八五四年）に再建された天守は、
連立式天守で全国に現存する12城の
うち一番新しい建築であるが、築城
当時の縄張りをよく残している。